

平成16年度事業計画

平成16年度は、本土会発足35周年を迎える。そしてこの10年間、公益法人として多くの役割を果たしてきた中、更なる成長と安定を為し得るため、組織や規約、予算、事業などの細部に渡る見直しを計画している。このため、各部署の予算を増額し、併せて支部連絡協議会のもと支部連絡費を倍増した。社会に対する様々なニーズに迅速且つ的確に対応するには、支部の協力なしには為し得ないことであり、支部組織の活動に大いに期待するところである。また、特設委員会として規約検討委員会を立ち上げ、規約全般の整備も図る予定である。第二次長期10カ年計画の素案作りと平行し、この先10年、20年対応可能な規約の作成が必要である。診療報酬、介護報酬、年金制度等が目まぐるしく改定される時代、専門職種としての地位と職域確保のために、多くの情報の収集と会員の皆様に役立つ知識・技術・情報を速やかに提供できる組織作りを目指して行きたいと考える。

以下に平成16年度事業重点項目について報告する。

1. 道内作業療法士の質的向上

昨年度に引き続き、生涯教育制度の安定運営を図る。講習会は臨床における中堅及びリーダーとなる人材の育成を目指して、内容の見直しや新規に現職者講習会を開催し質的充実を図る。

2. 規約の整備

学会に関する規則、学術奨励に関する規程、基本財産に対する規程、専従事務職員の就業に関する規程、その他士会運営に関する規程の見直し及び策定のため、規約検討委員会を設置し規約の整備を図る。

3. 支部活動への支援と連携の強化

支部活動が活発化してくる中、支部連絡協議会を中心とした各支部への援助を強化する一方、支部組織の役割の再確認及び連携の強化を図る。

4. 公的活動の推進

マスメディアを利用した広報活動の検討と作業療法普及のための幅広い啓発活動を展開する。

5. 長期10カ年計画の評価と検討

第一次長期10カ年計画の後期項目の推進及び再評価と第二次長期10カ年計画の素案作りを行う。

6. 会費の見直し

収入項目の見直し及び支出割合、未収入金の取り扱いなどについての検討を行う。収入の見直しについては学会収益金の学術基金（仮名）への繰り入れを検討、支出に関しては管理費、事業費、支部連絡費などの支出割合を検討し、将来の収支における会費の見直しを行う。

【事務局】

〔総務部〕

1. 会議運営；平成17年度定期総会の開催、理事会開催（年8回）、三役会開催（年11回）
2. 定期刊行物の発送及び保管
3. 公文書接受・発行
4. 士会事務所の使用、管理
5. 理事研修会の開催

〔調査部〕

1. 会員基本データ管理
2. ホームページの管理運営
3. ホームページ内容の再検討
4. OT協会会員管理システムの管理・運営
5. その他（各部署への情報提供等）

〔渉外部〕

1. 行政、他団体関連事業への協力・提言
2. 儀礼、新年交礼会出席
3. 都道府県士会作業療法士連絡協議会会議の出席
1. 他団体・当事者団体等への委員・講師派遣、後援協力

〔財務部〕

1. 平成16年度予算執行の管理
2. 平成16年度中間決算・補正予算
3. 平成16年度収支決算書の作成
4. 平成17年度予算案の作成
5. 会費の徴収；納入率改善のため、銀行窓口の開設、広報の強化、滞納者への迅速且つ厳格な対応の徹底
6. 会費値上げの検討

【学術部】

1. 北海道作業療法21巻1,2号の編集・発行及び特別号（学会誌）の発行
2. 作業療法効果研究プロジェクトの遂行
3. 学術奨励賞選考（函館学会）
4. 学術情報の提供
5. 学術奨励システムの整備

【教育部】

1. 講習会；9回／年
 - 第1回（4月 総会）；「介護保険制度におけるリハビリテーションの現状と課題」
 - 第2回（6月 釧路）；「工作技術セミナー・リーチャー製作」（仮題）
 - 第3回（8月 旭川）；「スイッチ」
 - 第4回（9月 北見）；「地域リハビリテーション」（仮題）
 - 第5回（9月 札幌）；「発達の作業療法」
 - 第6回（同上）；「精神科リハビリテーション」
 - 第7回（12月 釧路）；「脳卒中の評価と治療」
 - 第8回（1月 札幌）；「地域リハビリテーション関連」予定（PT・OT合同研修会）
 - 第9回（3月 札幌）；「地域作業療法」
2. 新人研修会；6回,12会場（地方開催6回含む）／年
 - 第1回（7月 札幌）；「協会・道士会の歴史・組織」「人間関係論」「倫理綱領」「症例研究」
 - 第1回（8月 旭川）；同上
 - 第2回（7月 札幌）；「福祉関連機器・用具」「地域医療福祉」「人間関係論」
 - 第2回（11月 函館）；同上
 - 第3回（9月 札幌）；「関係法規」「科学・その性格と研究方法」「症例研究」
 - 第3回（12月 帯広）；同上
 - 第4回（11月 札幌）；「世界におけるOTの動向」「日本におけるOTの動向」「作業療法の対象領域」「臨床実習教育指導方法論」
 - 第4回（1月 北見）；同上
 - 第5回（2月 札幌,旭川）；「症例研究」
 - 第6回（3月 函館,北見）；「症例研究」
3. 現職者講習会；2回／年
 - 第1回（10月 会場未定）；身体障害もしくはは老年期障害領域
 - 第2回（10月 会場未定）；精神障害領域
4. 生涯教育単位認定の運営

【福利部】

1. 新卒者の就職状況把握
2. 新卒者への士会入会勧誘
3. 新入会員歓迎会
4. 団体保険管理・運営
5. 研修会等での託児所運営支援
6. 福利相談
7. 倫理規定情報収集・検討
8. 平成17年新年交礼会実施

【広報部】

1. 道士会ニュースの定期発行（年6回）
2. ニュース編集マニュアルの作成
3. ホームページ広告の掲載の検討
4. マスメディアを利用した広報活動の検討

【事業部】

1. 道庁パネル展出展
2. 作業療法推進月間「高校生一日体験」の実施
3. 地域住民啓発活動「市民公開講座」の開催
4. マスメディアを利用した広報活動の検討
5. 委託事業等の協力；（社）日本作業療法士協会・（社）日本理学療法士協会・日本言語聴覚士協会三協会主催・（社）北海道作業療法士会共催全国研修会「介護保険フォーラム2004」10/17(日)

【保険部】

1. 情報収集活動；診療報酬関係についての情報収集
2. 会員への広報活動；保険相談、ホームページ上での情報提供

【支部連絡協議会】

- 1 支部連絡協議会の組織化
 - ・ 協議会事業の整備
 - ・ 協議会連絡体制の整備
2. 支部連絡協議会の開催・運営；第1回4月24日（総会時） 第2回：未定
3. 支部組織及び規約作成への援助
4. 各支部年度計画の調整と組織活動状況の集約
5. 部局・委員会と支部間の調整

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 第12回定期総会の開催(4/24)

[学会評議委員会]

1. 平成16年度 第35回函館学会の支援
2. 平成17年度 第36回旭川学会の支援
3. 平成18年度 第37回学会開催地及び学会長の検討
4. 「学会運営の手引き」の見直し
5. 第35回函館学会の参加者の動向調査

[選挙管理委員会]

1. 平成17年度役員改選に向けての選挙公報及び準備

[企画調整委員会]

1. 第一次長期10カ年計画の見直し
2. 第二次長期10カ年計画の検討
3. 各部局間の調整

【特設委員会】

[規約検討委員会]

1. 規約の見直し作業
2. 新規約原案の作成

【支部活動計画】

札幌支部

1. 区担当者会議；1回
2. ブロック打ち合わせ；4ブロック各2回の計8回
3. ブロック連絡会；4ブロック各1回の計4回

石狩支部

1. 支部勉強会の開催；2回
2. 「機能研究会」の立ち上げの検討

空知支部

1. 支部会議；1回程度
2. 支部勉強会；1~2回

後志支部

1. 支部総会、会議
2. 勉強会；2回

日胆支部

1. 支部総会の開催
苫小牧地区
 - 1) 会議、勉強会
 - 2) PT・OT 合同研修会
- 室蘭地区
 - 3) 会議、勉強会

道南支部

1. 支部総会、会議の開催
2. 函館学会運営
3. 道士会新人研修会；1回
4. 支部勉強会；4回
5. 派遣事業等；8カ所

道北支部

1. 支部総会、会議（7回）の開催
2. 道士会講習会（1回）、新人研修会（2回）の開催
3. 支部広報誌の発行；7回

十勝支部

1. 支部総会
2. 道士会新人研修会；1回（予定）
3. 支部勉強会；3回
4. 派遣事業等；2カ所

根釧支部

1. 支部総会（5/9）、会議（6回）の開催
2. 道士会講習会；1回
3. 支部勉強会；5~6回
4. 支部広報誌の発行；5~6回

網走支部

1. 道士会講習会（1回）、新人研修会（2回）
2. 支部勉強会、ビデオ講習会
3. 支部広報誌の発行；4回